

日々はOracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年10月16日月曜日

ローカル環境のSQL Developer Webの管理者ユーザーを作成する

ローカルの環境にOracle REST Data Services（以降ORDSとします）をインストールしSQL Developer Webに接続するには、ORDSにスキーマを登録する（ORDSをスキーマにたいして有効にする）必要があります。Autonomous Databaseの管理ユーザーADMINとは異なり、ローカルの環境ではSQL Developer Webにアクセス可能なユーザーは、デフォルトで作成されません。

ロールPDB_DBAが割り当たっているユーザーで、SQL Developer Webに接続ができるようにするPL/SQLスクリプトを書きました。

```
set serveroutput on
begin
  for r in (select * from dba_role_privs)
  loop
    if r.grantee <> 'SYS' and r.grantee in ('ADMIN','PDBADMIN') then
      ords_admin.enable_schema(
        p_enabled => true,
        p_schema => r.grantee,
        p_url_mapping_type => 'BASE_PATH',
        p_url_mapping_pattern => lower(r.grantee),
        p_auto_rest_auth => true
      );
      dbms_output.put_line('Schema ' || r.grantee || ' is allowed to connect to SQL Developer W
    end if;
  end loop;
  commit;
end;
/
```

create-admin-user-sdw.sql hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)

PDBにユーザーSYSで接続し、上記のスクリプトを実行します。PDBの管理ユーザーは一般的にADMINかPDBADMINという名前で作成されるため、その名前に制限されるように条件を付けています。ADMIN、PDBADMIN以外の名前で管理ユーザーが作成されている場合は、条件を変更します。

実行結果は以下のようになります。

```
SQL> set echo on
SQL> @create-admin-user-sdw.sql
SQL> set serveroutput on
```

```

SQL> begin
2   for r in (select * from dba_role_privs)
3   loop
4       if r.grantee <> 'SYS' and r.grantee in ('ADMIN','PDBADMIN') then
5           ords_admin.enable_schema(
6               p_enabled => true,
7               p_schema => r.grantee,
8               p_url_mapping_type => 'BASE_PATH',
9               p_url_mapping_pattern => lower(r.grantee),
10              p_auto_rest_auth => true
11          );
12          dbms_output.put_line('Schema ' || r.grantee || ' is allowed to connect
to SQL Developer Web.');
```

Schema PDBADMIN is allowed to connect to SQL Developer Web.

PL/SQL procedure successfully completed.

SQL>

ORDS 23.1より追加された、ORDSのランディング・ページにアクセスします。

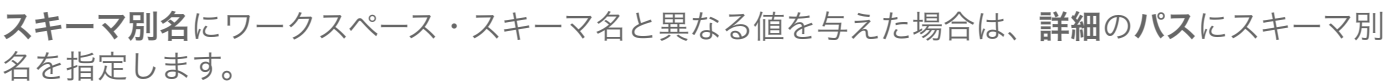
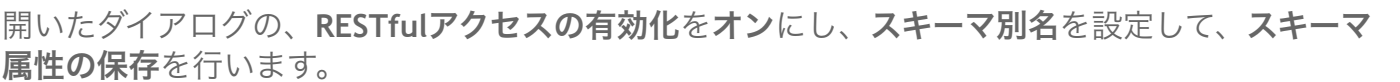
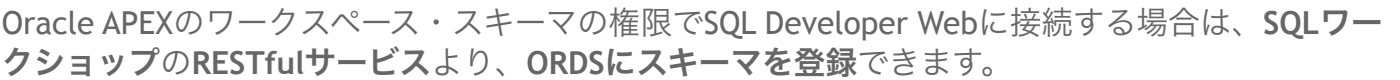
SQL Developer Webの**実行**をクリックします。



ユーザー名にPDBの管理ユーザーの名前、パスワードにそのユーザーのデータベースのパスワードを入力します。

スキーマをORDSに登録する際に引数p_url_mapping_patternとして、管理ユーザーと同じ値（小文字に変更）を設定しているため、詳細を開いてパスを設定する必要はありません。

サインインをクリックします。



ただし、スキーマ別名は作成済みのAPEXアプリケーションのパスに影響を与えるため、デフォルトで設定されるワークスペース名から変更することはお勧めしません（アプリケーションのURLよりワークスペース名を推定されたくない、という要件がある場合は除きます）。



Oracle APEXのワークスペース・スキーマに、パスワードの設定は不要です。そのため、APEXだけで利用している場合、パスワードが設定されていないことがあります。

ローカルにインストールしたSQL Developer Webから接続する場合は、データベース・ユーザーとパスワードで認証するため、パスワードを設定する必要があります。一般に以下のようなalter user文を実行します。

alter user <ユーザー名> identified by <パスワード>;

完

Yuji N. 時刻: 12:36

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.